

科目名	地理総合	学年	普通科		必/選	単位数
		1	国文	普通	必	2
			○	○		
学 習 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。 ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養わせる。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めさせる。 					
使 用 教 材	教科書：高等学校新地理総合（帝国書院） 地図帳：標準高等地図（帝国書院） 副教材：図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2024（帝国書院）					
評 価	評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ノート、振り返りシート等で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 		
		b	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 		
		c	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などが深まっている。 		

			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。				
期	月	時数	学習項目・ 単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4	20	第1部地図でとらえる現代世界 ・地図と地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度の違いや時差は私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。 ・主題図と一般図にはそれぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。 ・地理情報システム（GIS）は、どのように活用されているのだろうか。 	○	○	
	5						
	6						
	7						
2 学期	9	30	第2部国際理解と国際協力 ・生活文化の多様性と国際理解 ・地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上のさまざまな地形と人々はどのように関わっているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わっているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・世界ではどのような地球環境問題が見られ、どのような取り組みが行われているのだろうか。 ・世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるのだろうか。また、持続可能なエネルギーの利用方法とはどのようなものだろうか。 	○	○	
	10						
	11						
	12						
3 学期	1	20	第3部持続可能な地域づくりと私たち ・自然災害と防災 ・生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波はどのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えてどのような取り組みが必要なのだろうか。 ・火山はどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。また、火山災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。 ・気象災害にはどのような種類があり、どのような被害をもたらすのだろうか。また、気象災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。 ・生活圏の課題を解決するためには、どのような調査を行えば良いだろうか。 	○	○	
	2						
	3						
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
評価方法：定期考査の点数と平常点（提出物、授業に取り組む意欲・姿勢）							